

美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート(令和6年度)

事業名称			実施主体				
自主防災活動推進事業			美原区自主防災連絡協議会				
事業目的		事業効果		活動指標	R4	R5	R6
美原区域内の自主防災組織相互の連携を密にし、自主防災体制の充実、強化を図ることを目的とする。		地域防災力の向上を図るため、講習会等を実施し、安全、安心なまちの実現をめざす。		防災講習会等参加者数	49	40	44
				訓練指導した防災マイスター数(延べ人数)	-	-	10
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	自主防災の推進を図るため、区と協議会とが協働し、事業を通じて、安全・安心なまちの実現をめざす取組を行うことは妥当性がある。	◎	美原区長と各校区自主防災会から選出された構成委員自らが、企画・運営する事業であり、区民や地域の団体との協働で実施している。	◎	区自治連合協議会を通じた横のつながりや、区役所との連携によって、地域防災力を高める取組を実施しており、これは美原区の大きな特長である。	○	各校区の自主防災会からも費用負担をしてもらい、運営に必要な費用の一部を充当している。また、事業実施に伴う支出については、最小限に抑える努力をするなど効率的に執行している。
⑤自立発展性		総合評価					
○	事業の適正・効率性、市民の主体性の観点から、区の役割と協議会の役割を明確にし、市民の主体性が求められるものは、自立発展を求める。	◎	今年度は、コロナ禍以降滞っていた大規模な防災訓練が2校区で再開され、防災マイスターによる訓練指導も5年ぶりに実施することができた。 また、単位自治会の会館等が持つ一時避難所としての機能を強化するため、2校区において必要な資機材を整備した。 地区防災計画策定に向けては、1校区に対して、ワークショップ等の支援を行った。				
今後の方向性(課題、改善提案等)							
拡充 継続 見直し 廃止	地域防災の中心的な役割として活躍されている方に対して、防災講習会等を実施し、防災に関するスキルアップを図る。また美原区防災マイスターによる訓練指導を行うことにより、指導者としての経験の場を設け、人材育成を図る。 また、自主防災組織の組織面では、自主防災組織相互の連携を密にし、自主防災体制の充実、強化を図ることを目的に事業を実施する。 単位自治会の会館等が持つ一時避難所としての機能を強化するため、災害時に機能する情報ネットワーク及び必要な資機材を整備する。 地区防災計画の策定に向けて、ワークショップの開催、実践を想定した訓練の実施を支援する。						